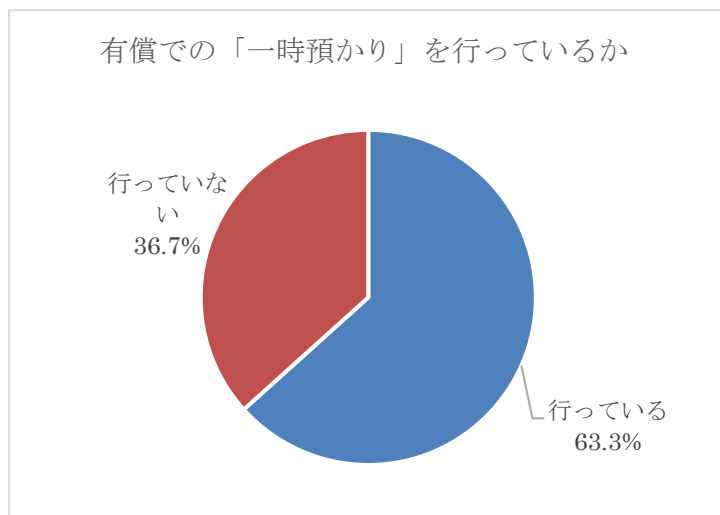


1 アンケート調査結果

学習機会提供団体への調査で、「子どもの一時預かり」委託先として名前の挙がった団体および当団体（会員含む）で行うとの回答のあった団体に対し、「子どもの一時預かり」（以下、「一時預かり」と表記する）を行っているか問うた。（2）以下は、「行っている」との回答を得た団体のみを集計である。

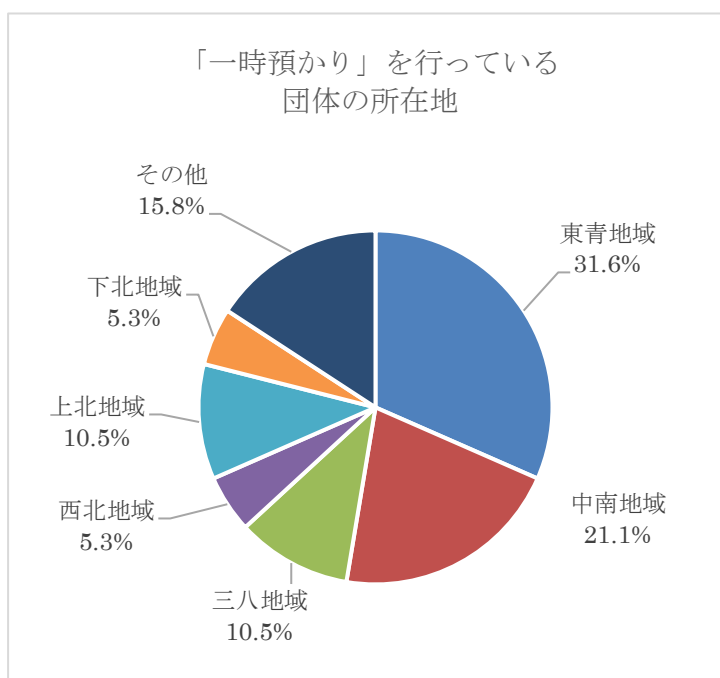
（1）有償での「一時預かり」を行っているか



有償での「一時預かり」を「行っている」団体は19件（63.3%）「行っていない」団体は11件（36.7%）であった。

図2-1 子どもの一時預かりを行っているか
N=30

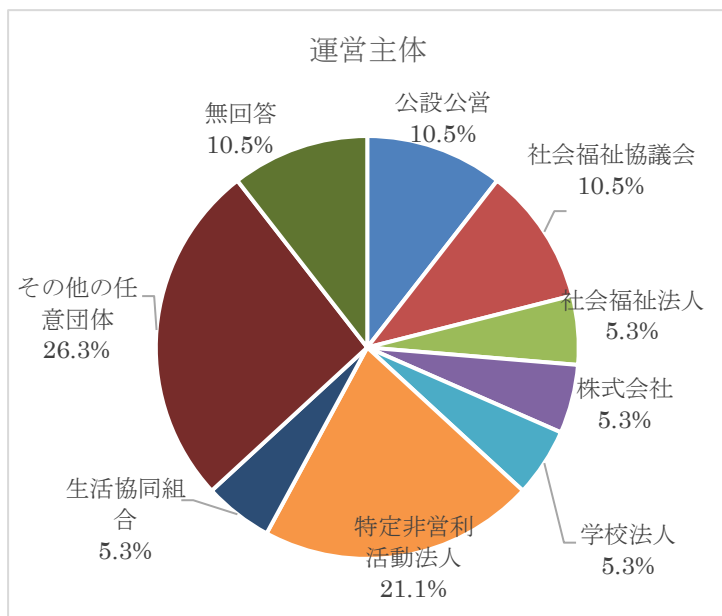
（2）「一時預かり」を行っている団体の所在地



「一時預かり」を行っている団体の所在地は、東青地域が最も多く6件（31.6%）、次いで中南地域4件（21.1%）、三八地域と上北地域がともに2件（10.5%）、西北地域と下北地域がともに1件（5.3%）であった。「その他」が3件（15.8%）であった。

図2-2 「一時預かり」を行っている団体の所在地
N=19

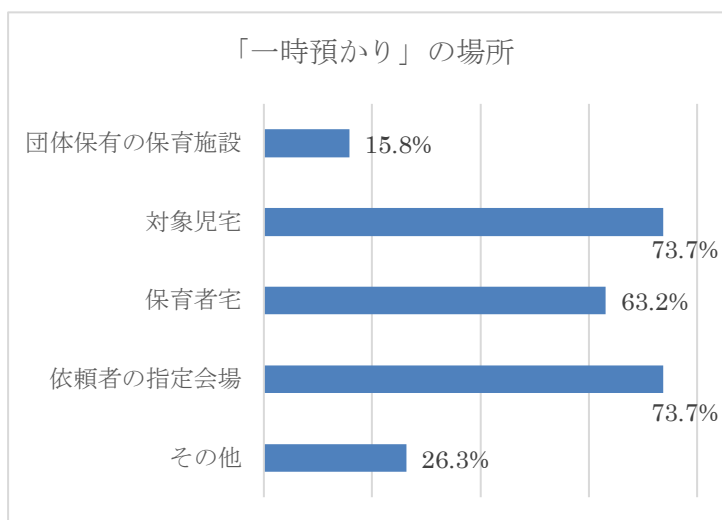
(3) 運営主体



団体の運営主体は、「その他の任意団体」が最も多く 5 件 (26.3%)、次いで「特定非営利活動団体」4 件 (21.1%)、「公設公営」、「社会福祉協議会」がともに 2 件 (10.5%) と続いている。

図 2-3 運営主体
N=19

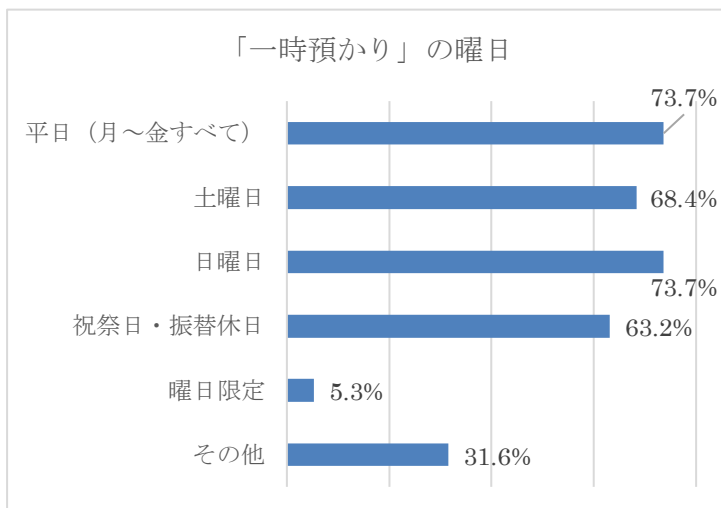
(4) 「一時預かり」の場所 (複数回答)



「一時預かり」の可能な場所で最も多かったのは、「対象児宅」と「依頼者の指定会場」でともに 14 件 (73.7%)、次いで「保育者宅」12 件 (63.2%)、「その他」5 件 (26.3%) であった。

図 2-4 「一時預かり」の場所
N=19

(5) 「一時預かり」の曜日 (複数回答)



「一時預かり」の可能な曜日で最も多かったのは、「平日 (月～金すべて)」と「日曜日」でともに 14 件 (73.7%)、次いで「土曜日」13 件 (68.4%)、「祝祭日・振替休日」12 件 (63.2%) であった。

図 2-5 「一時預かり」の可曜日
N=19

(6) 「一時預かり」の時間帯（記述回答より）

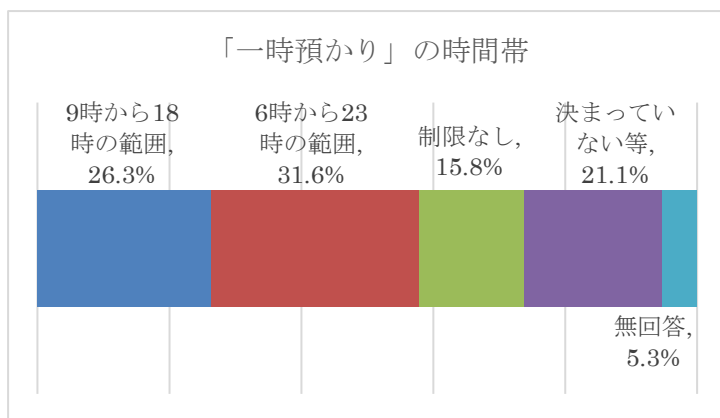


図 2-6-1 「一時預かり」の時間帯
N=19

「一時預かり」の可能な時間帯で最も多かったのは、「6時から23時の範囲」6件（31.6%）、次いで「9時から18時の範囲」5件（26.3%）、「決まっていない」4件（21.1%）と続いた。

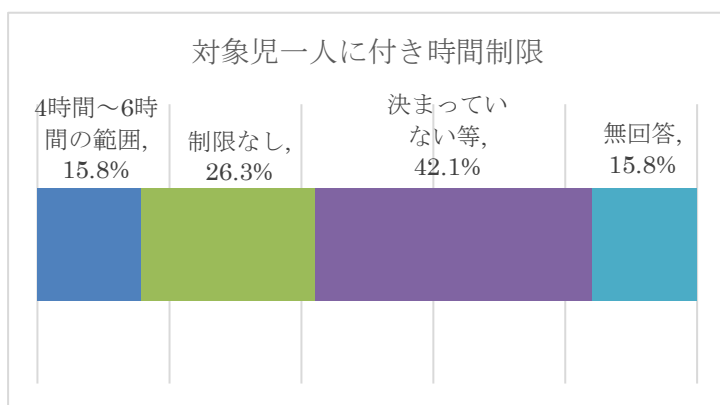


図 2-6-2 対象児一人につき時間制限
N=19

また、対象児一人につき何時間まで預かりが可能か問うところ、「決まっていない」が8件（42.1%）と最も多く、「制限なし」5件（26.3%）であった。「4時間から6時間の範囲」としているのは3件（15.8%）であった。

(7) 「一時預かり」で受け入れる年齢

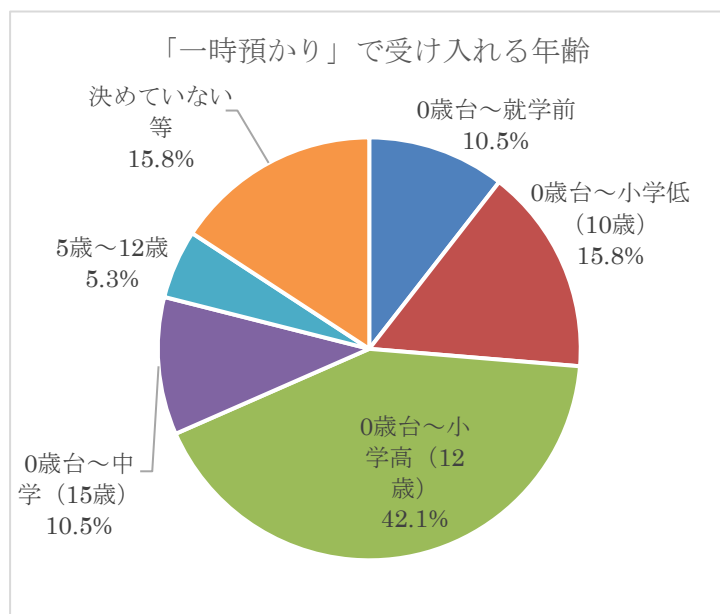
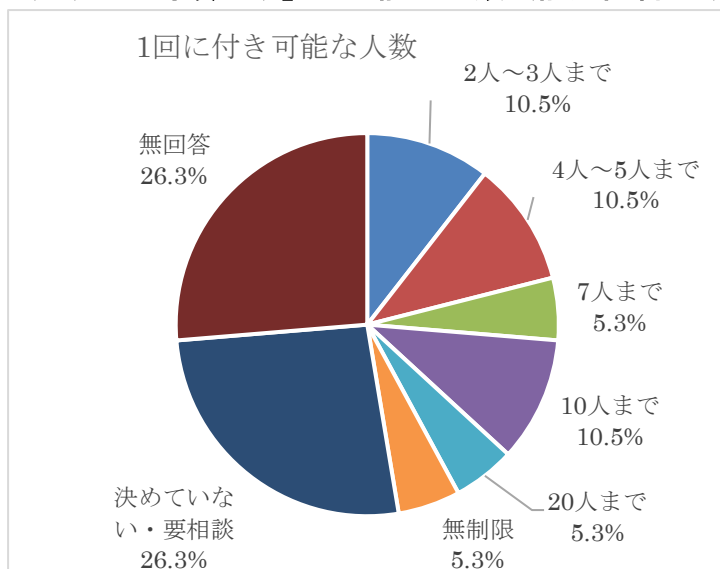


図 2-7 「一時預かり」で受け入れる年齢
N=19

「一時預かり」で受け入れる年齢で、最も多かったのは、「0歳台～小学校高学年（12歳）」8件（42.1%）、次いで「0歳台～小学校低学年（10歳）」と「決まっていない」がともに3件（15.8%）、「0歳台～就学前」と「0歳台～中学校（15歳）」がともに2件（10.5%）であった。

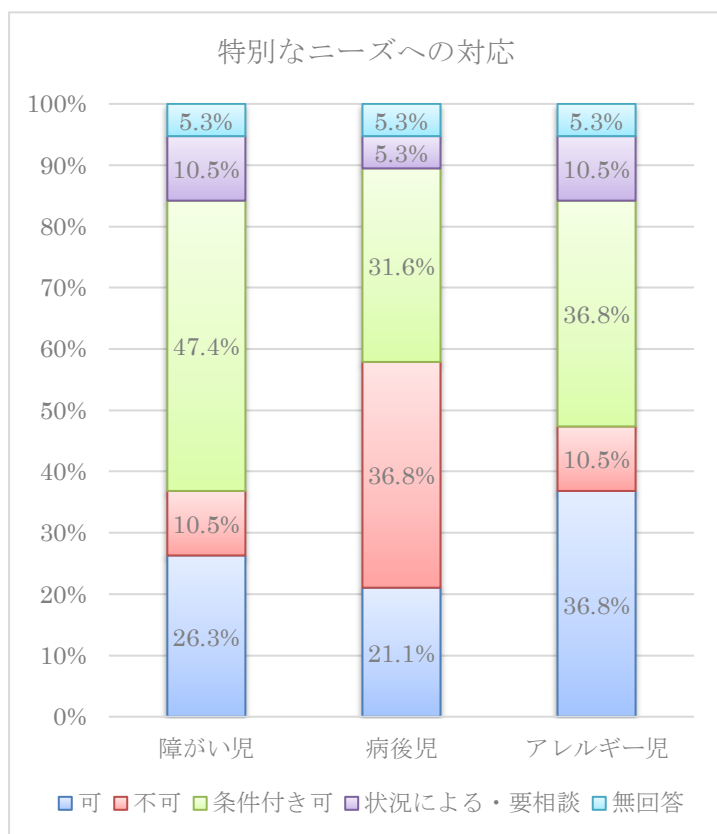
(8) 「一時預かり」の可能な人数（記述回答より／1回につき可能な人数）



「一時預かり」において1回につき受け入れられる人数を問うたところ、「決めていない・要相談」が最も多く、5件(26.3%)、無回答も同数あった。次いで「2人～3人まで」「4人～5人まで」「10人まで」とするところが各2件(10.5%)あった。「7人まで」、「20人まで」、「無制限」が各1件(5.3%)ずつあった。

図2-8 1回につき可能な人数
N=19

(9) 特別なニーズへの対応



「障がい児」「病後児」「アレルギー児」について受け入れが可能なかを問うた。「障がい児」については、「可」5件(26.3%)、「不可」2件(10.5%)、「条件付き可」9件(47.4%)であった。「病後児」については、「可」4件(21.1%)、「不可」7件(36.8%)、「条件付き可」6件(31.6%)であった。「アレルギー児」については、「可」7件(36.8%)、「不可」2件(10.5%)、「条件付き可」7件(36.8%)であった。

図2-9 特別なニーズへの対応
N=19

(10) 予約について

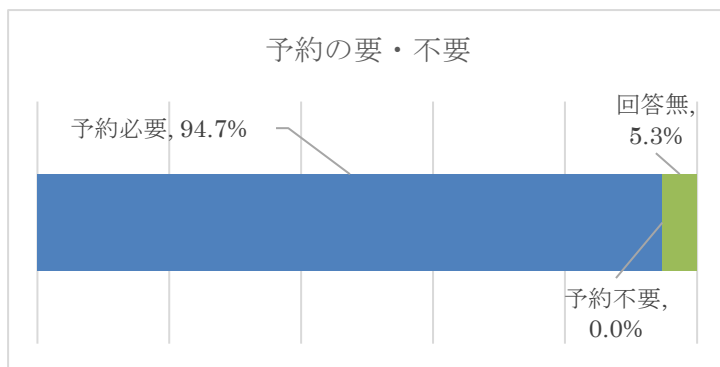


図 2-10-1 予約の要・不要
N=19

予約について、要・不要と予約の種類について問うた。

予約が必要なのは 18 件 (94.7%) であり、予約が不要なのは 0 件であった。残りの 1 件 (5.3%) は無回答である。

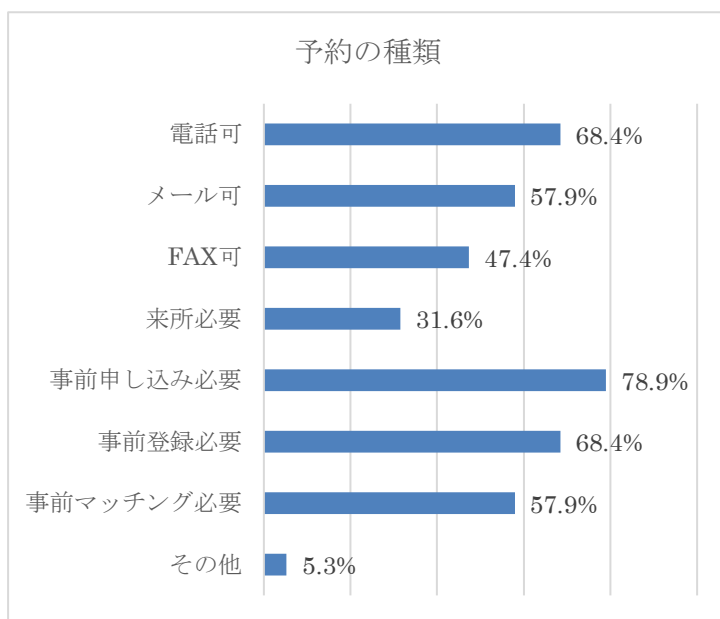


図 2-10-2 予約の種類
N=19

予約の種類について当てはまるものすべてを回答してもらった(複数回答)ところ、最も多かったのは「事前申し込み必要」15 件 (78.9%)、次いで「電話可」と「事前登録必要」13 件 (68.4%)、次に「メール可」「事前マッチング必要」11 件 (57.9%) と続く。

(11) キャンセル料金の発生しないキャンセル

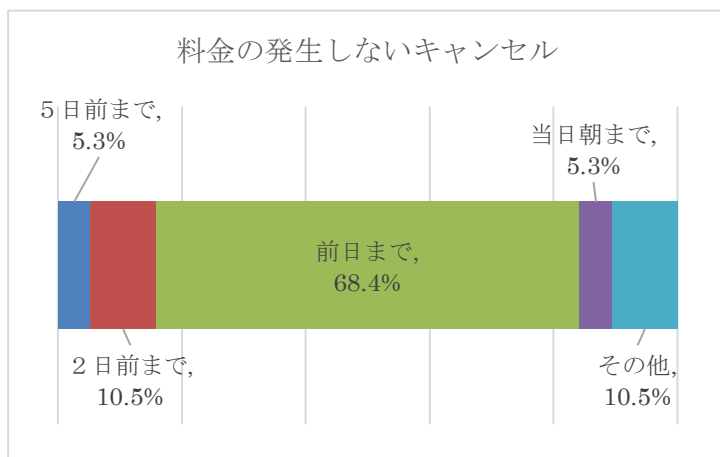
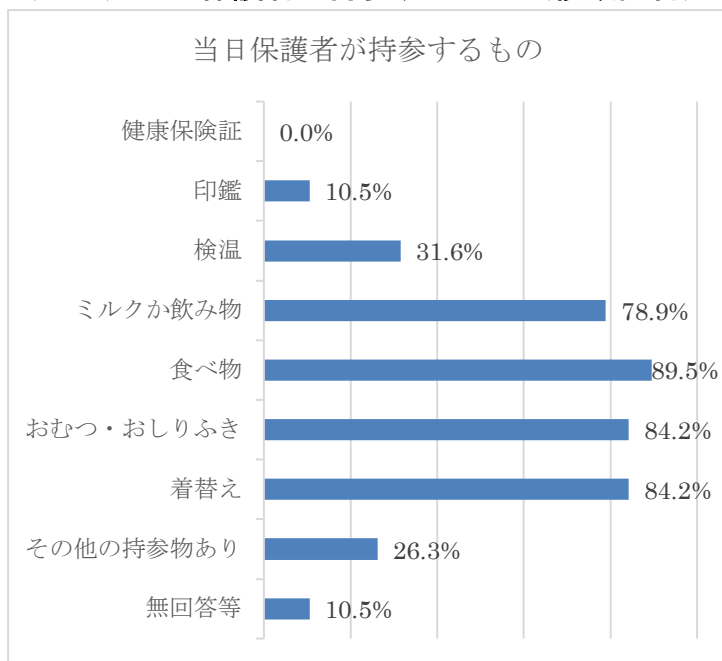


図 2-11 料金の発生しないキャンセル
N=19

キャンセル料金の発生しないキャンセルは何日前までか問うた。最も多かったのは「前日まで」13 件 (68.4%)、次いで「2 日前まで」が 2 件 (10.5%)、「5 日前まで」「当日朝まで」が各 1 件 (5.3%) であった。

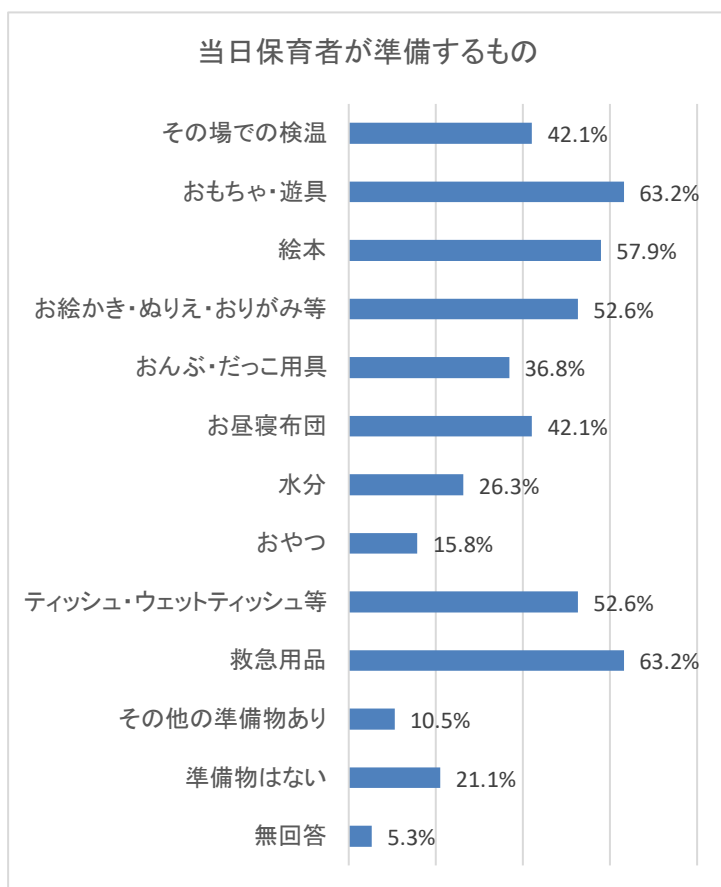
(12) 当日保護者が持参するもの（複数回答）



当日保護者が持参するものについて最も多かったのは、「食べ物」17件（89.5%）、次いで、「おむつ・おしりふき」と「着替え」とともに16件（84.2%）、次に「ミルクか飲み物」15件（78.9%）と続いた。

図 2-12 当日保護者が持参するもの
N=19

(13) 当日保育者が準備するもの（複数回答）



当日保育する者が準備するものについて、最も多かったものは「おもちゃ・遊具」「救急用品」が12件（63.2%）、次いで「絵本」11件（57.9%）、次に「お絵かき・ぬりえ・おりがみ等」「ティッシュ・ウェットティッシュ等」が10件（52.6%）と続いた。

図 2-13 当日保育者が準備するもの
N=19

(14) 保険加入 (複数回答)

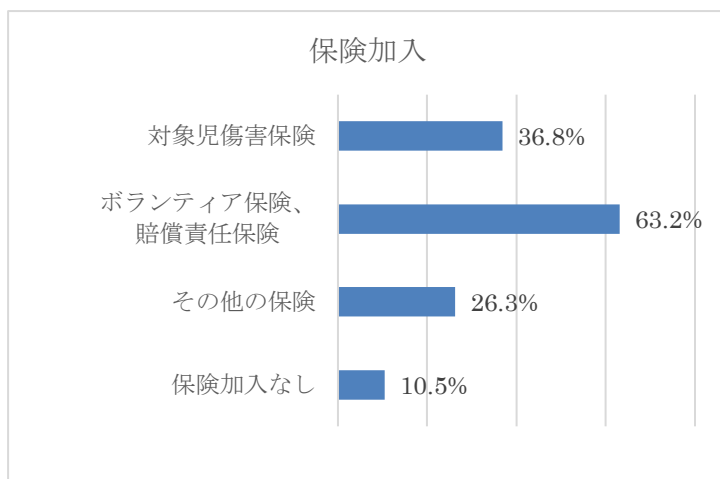


図 2-14 保険加入
N=19

保険への加入については、「ボランティア保険、賠償責任保険」が 12 件 (63.2%)、「対象児傷害保険」が 7 件 (36.8%)、「その他の保険」が 5 件 (26.3%)、「保険加入なし」が 2 件 (10.5%) であった。

(15) 保育者の資格 (複数回答)

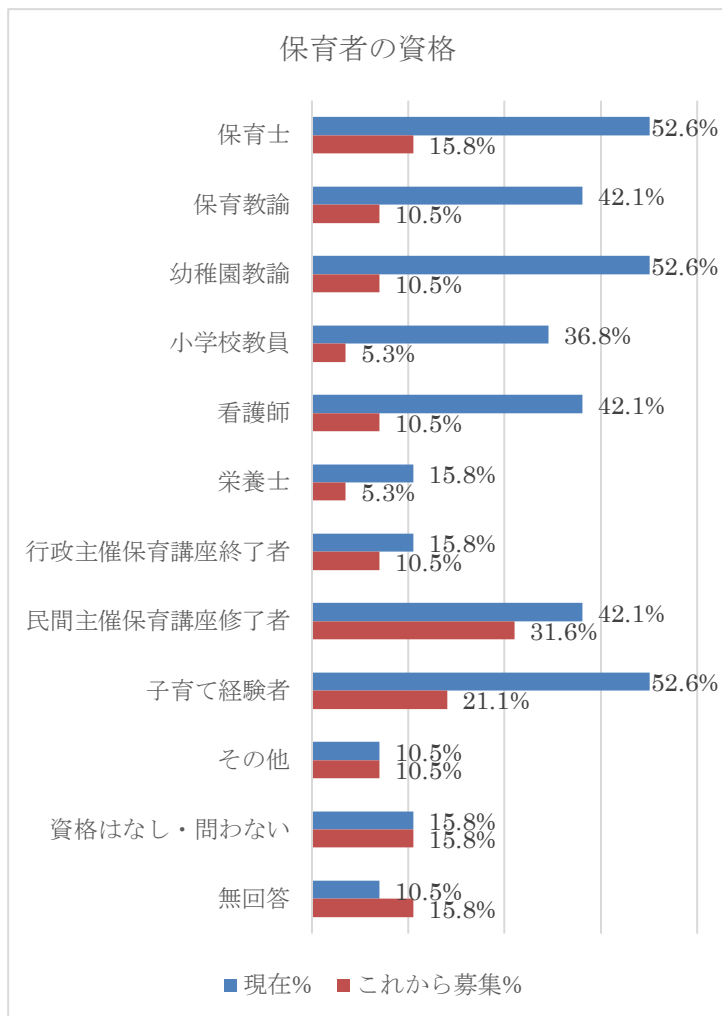


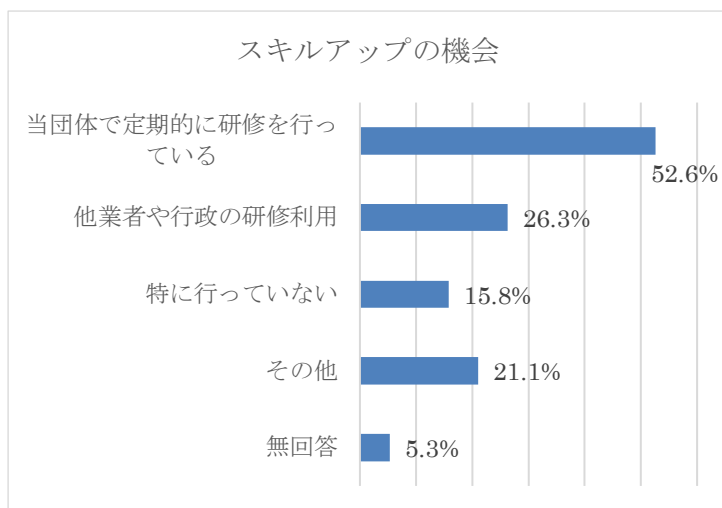
図 2-15 保育者の資格
N=19

現在保育に当たっている保育者と、これから募集する保育者の最低限の資格を問うた。

現在の保育者の資格は「保育士」「幼稚園教諭」「子育て経験者」が最も多く 10 件 (52.6%)、次いで「保育教諭」「看護師」「民間主催保育講座修了者」が 8 件 (42.1%)、「小学校教員」7 件 (36.8%) と続いた。

これから募集する保育者については、「民間主催保育講座修了者」6 件 (31.6%)、「子育て経験者」4 件 (21.1%)、「保育士」3 件 (15.8%) の順である。「資格はなし・問わない」も同数の 3 件 (15.8%) あった。

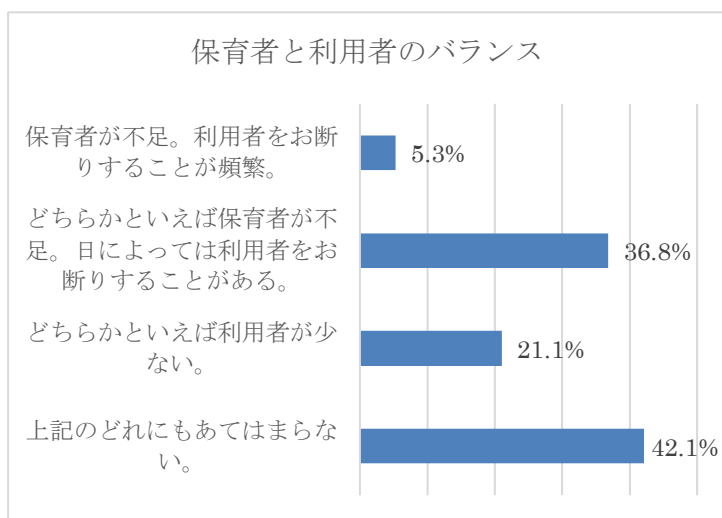
(16) 保育者のスキルアップの機会（複数回答）



保育者のスキルアップの機会については、「当団体に定期的に研修を行っている」10件（52.6%）、「他業者や行政の研修利用」5件（26.3%）、「その他」4件（21.1%）「特に行っていない」3件（15.8）の順であった。

図 2-16 スキルアップの機会
N=19

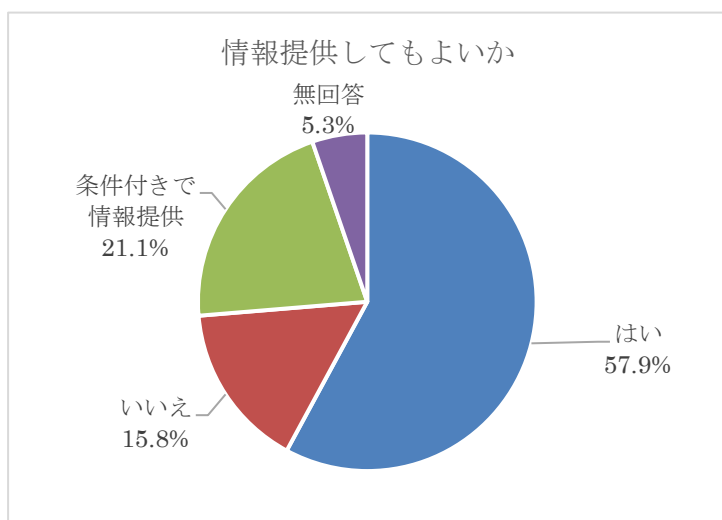
(17) 利用状況における保育者と利用者のバランス



利用状況における保育者と利用者のバランスについては、「上記のどれにもあてはまらない」が最も多く8件（42.8%）であった。次いで「どちらかといえば保育者が不足」7件（36.8%）。「どちらかといえば利用者が少ない」が4件（21.1%）と続いた。

図 2-17 保育者と利用者のバランス
N=19

(18) 情報提供してもよいか



「一時預かり」をしていることを、一般の方や他団体・他機関等に情報提供してもよいかを問うたところ、「はい」11件（57.9%）、「条件付きで情報提供してもよい」4件（21.1%）、「いいえ」3件（15.8%）という結果であった。

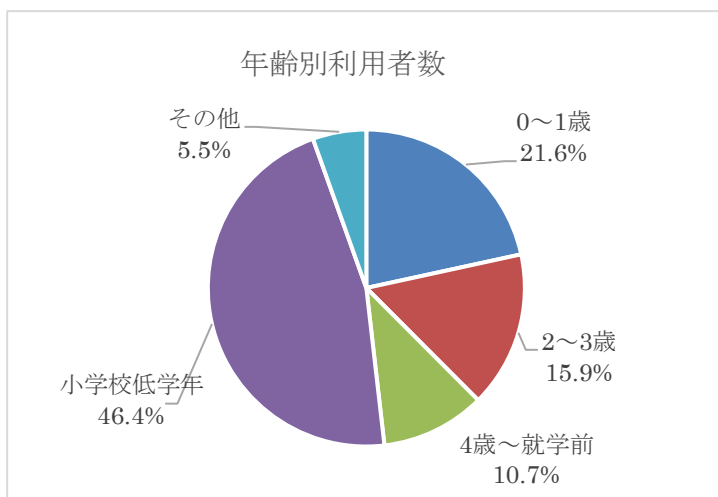
図 2-18 情報提供してもよいか
N=19

(19) 利用実績について

過去1年間のうち最も利用の多かった1か月間の実績を問い、15団体から回答を得た。よって各項目のNは、回答のあった15件の利用者数の合計である。

利用の多かった月	2019年1月～2020年6月のうちの1か月
利用のあったのべ日数	195日

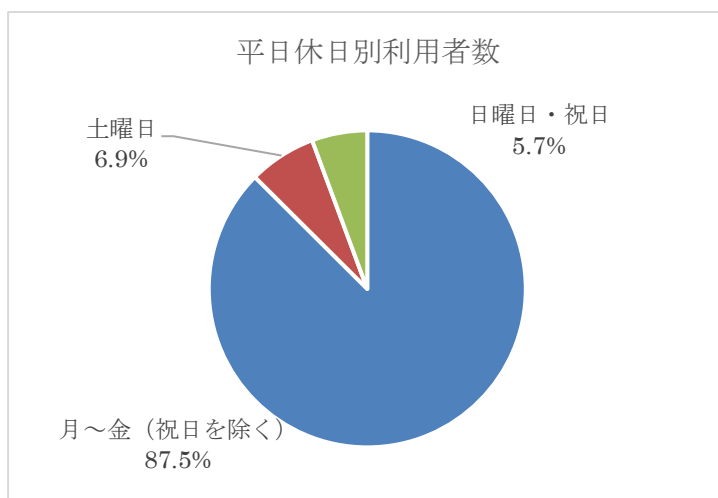
①年齢別利用者数（のべ）



年齢別利用者数は、全体で1,042人であった。その中で「小学校低学年」が最も多く483人（46.4%）であった。次いで「0歳～1歳」225人（21.6%）、「2歳～3歳」166人（15.9%）、「4歳～就学前」111人（10.7%）、「その他」57人（5.5%）の順であった。

図 2-19-1 年齢別利用者数
N=1042

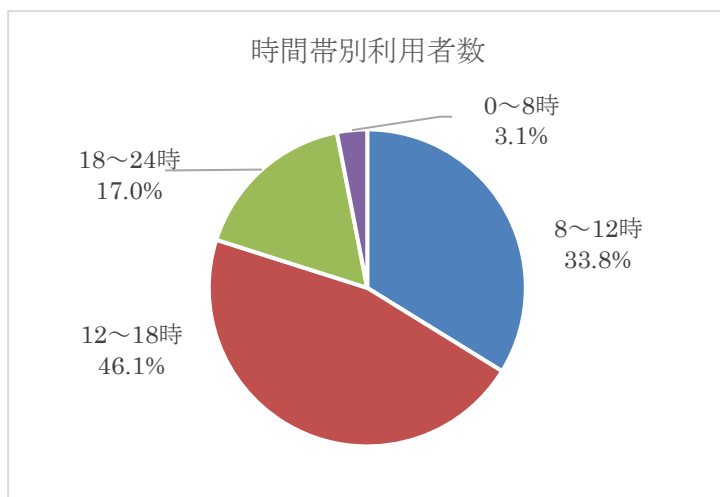
②平日休日別利用者数（のべ）



平日休日別利用者数は、全体で654人であった。その中で「月～金（祝日を除く）」が572人（87.5%）、「土曜日」が45人（6.9%）、「日曜日・祝日」が37人（5.7%）であった。

図 2-19-2 平日休日別利用者数
N=654

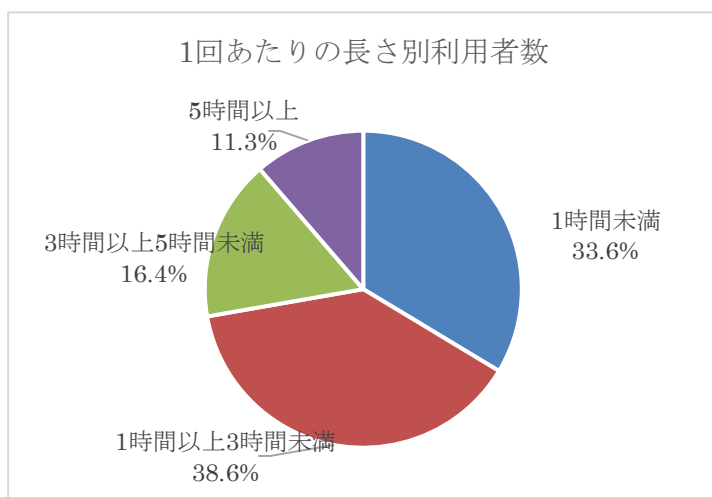
③時間帯別利用者数（のべ）



時間帯別利用者数は、全体で 911 人であった。その中で「12 時～18 時」が最も多く 420 人 (46.1%) であった。以下、「8 時～12 時」308 人 (33.8%)、「18 時～24 時」155 人 (17.0%)、「0 時～8 時」28 人 (3.1%) の順であった。

図 2-19-3 時間帯別利用者数
N=911

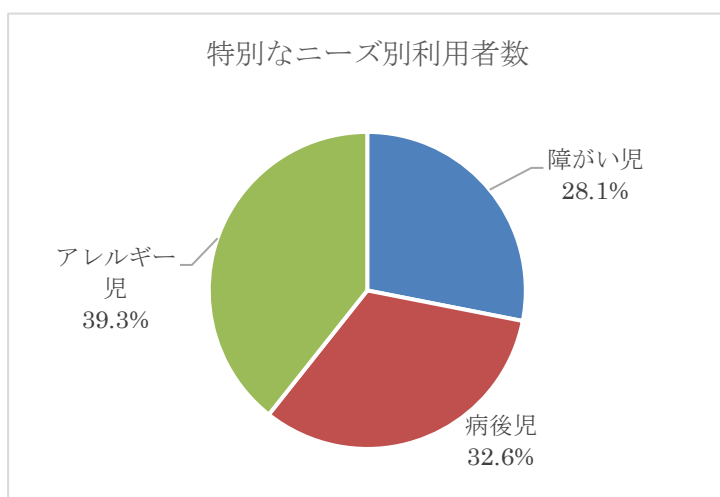
④1 回あたりの長さ別利用者数（のべ）



1 回あたりの長さ別利用者数は、全体で 663 人であった。「1 時間以上 3 時間未満」が最も多く 256 人 (38.6%) 以下、「1 時間未満」223 人 (33.6%)、「3 時間以上 5 時間未満」109 人 (16.4%)、「5 時間以上」75 人 (11.3%) の順であった。

図 2-19-4 1 回あたりの長さ別利用者数
N=663

⑤特別なニーズ別利用者数（のべ）



特別なニーズ別利用者数は、全体で 89 人であった。「アレルギー児」35 人 (39.3%)、「病後児」29 人 (32.6%)、「障がい児」25 人 (28.1%) であった。

図 2-19-5 特別なニーズ別利用者数
N=89